



色鮮やかなあじさいをあちらこちらで見かけるようになりました。関東地方も梅雨に入り、雨の日が多くなりました。そんな日は、図書室であなたにぴったりの本を探す旅をしてみましょう。おもしろい本ときっと出会えますよ。

6月30日は アインシュタイン記念日そして今年は生誕140年

1905年6月30日、アインシュタインが相対性理論の最初の論文「運動物体の電気力学について」を発表したことを記念した日です。物理学に対する関心を高める日ともされています。

『アインシュタインが考えたこと』 佐藤文隆：著

アインシュタイン少年は、光の速さで走りながら、光を見たらどう見えるのだろうかと考えました。このような自然の中で起きていることを解き明かし、大人になって相対性理論を発表します。その相対性理論についてわかりやすく、実際の現象を例に教えてくれます。

『アインシュタイン 相対性理論を生み出した天才科学者』 竹内均：監修

漫画で描かれたアインシュタインの伝記です。小学生のころ暗記が必要な歴史や語学、スポーツや音楽が苦手なで、先生や同級生からは勉強が不得意な子とされていました。しかし、好奇心や知識欲はとても旺盛な子供で、さまざまな質問をして、周囲の大人を困らせました。こうした幼児期から相対性理論を発表し、亡くなるまでを描きます。

『その時歴史が動いた14』 NHK取材班：編著

アインシュタインは20世紀最高の科学者であり、核兵器廃絶の平和運動の闘士でもありました。科学の発展が原子爆弾を作ってしまう、多くの犠牲者を生んでしまったことに衝撃を受け、科学者自身が先頭に立って平和運動をしなければならないと決断したのです。



やなせたかし 生誕100年 「アンパンマン」の作者



漫画家や詩人として活躍しましたが、戦争体験を綴った伝記やエッセイなど、著書は数多くあります。

『足みじかおじさんの旅』

足みじかおじさんは黒い帽子を顔の半分が隠れるほど深くかぶって、黒い服に黒い靴をはき、黒の蝶ネクタイをして黒のアタッシュケースを持っています。年齢も正体も不明ですが、悩んでいる時、悲しんでいる時、ひとそかに手を差し伸べてくれます。心に元気をくれる人なのです。やさしい気持ちになれるショートメルヘンです。



この本、読んでみませんか？ (図書委員 結菜さんおすすめ)

『か「」く「」し「」こ「」と「」』

住野よる：著

この本はそれぞれ「かくしごと」を持っている高校生5人の、少しだけ特別な日常を書いたお話です。皆さんにも一つや二つ「かくしごと」があるのではないのでしょうか。友だちにも秘密にしていることはありませんか？

本を読むと、5人から特殊能力があるという「かくしごと」を打ち明けられたようで、登場人物に感情移入してしまいます。また、友情や恋愛という要素も盛り込まれていて、青春小説が好きな人にもオススメです。